

SS 研 システム技術分科会 2024 年度会合

無線通信の未来展望

～ここに来ればミライが見える！ワイヤレスネットワークの将来を語ろう！～

■ 日時：2024年10月29日(火) 9:00～12:00 (受付8:30～)

■ 場所：神戸国際会議場 (住所：神戸市中央区港島中町6-9-1)

■ 開催方法：ハイブリッド開催 集合 + オンライン配信 (ZOOM)

■ ご参加について

- 参加対象：SS 研会員、CS 研会員、IS 研会員の各機関ご所属の方
- 参加費：無料

■ 開催趣旨

無線通信技術は、私たちの社会と経済を支える重要な基盤となっており、現代社会においてなくてはならないインフラとして当たり前の存在になってきている。スマートフォンをはじめとするモバイルデバイスの普及により、無線通信は人々の生活に深く根付いている。今日の世界では、無線通信は単なる通信手段を超えて、情報の共有、業務の効率化、社会的つながりの強化、そして経済成長の推進など、多岐にわたる役割を果たしている。

5G の普及はその代表的な例であり、広帯域かつ低遅延の通信により、IoT、スマートシティ、自動運転など、これまで実現不可能だった革新的なサービスを可能にしている。これにより、都市のインフラがスマートに管理され、交通の効率化やエネルギーの最適化が進み、生活の質の向上と持続可能な社会の実現に貢献している。さらに、現在研究が進められている 6G 技術は、さらなる通信の広帯域化やネットワークの拡張を実現し、新たな社会的価値を創造することが期待されている。

また、無線 LAN (Wi-Fi) は、大学や企業、公共施設、家庭などあらゆる場所で利用されており、インターネット接続の主要手段として不可欠な存在となっている。大学や企業などにおける無線 LAN の運用とその長い歴史から得られたノウハウは、無線通信技術の進化を支える重要な知見を提供する。こうした知見は、新しいネットワークインフラの構築や、より効率的で信頼性の高いネットワークの運用に向けた指針となる。

さらに、ローカル 5G の実証実験も各地で進行中である。ローカル 5G は、特定の地域や用途に応じてカスタマイズされたネットワークを構築し、産業のデジタルトランスフォーメーション (DX) や地域社会の活性化に大きく寄与している。例えば、スマートファクトリーやスマート農業、遠隔医療など、多様な分野でローカル 5G の利活用が期待されており、社会の多様なニーズに対応する柔軟な通信インフラの提供が進んでいる。

このような状況を踏まえ、本年度のシステム技術分科会 2024 年度会合では、無線通信技術の社会的役割とその重要性について深く掘り下げる理解を深めるために、「無線通信の未来展望～ここに来ればミライが見える！ワイヤレスネットワークの将来を語ろう！～」をテーマとし、無線通信の進化が社会にもたらす変革とともに見据え、その進化がもたらす新しい可能性に向けた議論を行いたい。

■ プログラム（予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。）

-敬称略-

8:30～	受付
[司会] 永田 正樹（静岡大学）	
9:00～9:05	開会趣旨説明 藤村 丞（福岡大学）
9:05～9:40 講演：35分	[講演 1] 静岡大学における WiFi 運用史 動作状況分析による無線 LAN 品質改善の取組み 山崎 國弘（静岡大学）
9:40～10:15 講演：35分	[講演 2] 調整中
10:15～10:50 講演：35分	[講演 3] 大阪大学におけるローカル 5G の実証実験から見えてきた課題 大平 健司（大阪大学）
10:50～11:05	休憩(15分)
11:05～11:55 50分	[パネルディスカッション] 無線通信の未来展望 ファシリテーター：廣瀬 幸（九州工業大学） パネリスト：山崎 國弘（静岡大学） 大平 健司（大阪大学） 調整中
11:55～12:00	閉会あいさつ

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込みください。

<http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会（SS 研）事務局

〒212-0014

神奈川県川崎市幸区大宮町 1-5 JR 川崎タワー

富士通株式会社 パブリック事業本部 T C 事業部内

Email: ssken-office@ml.css.fujitsu.com

URL <http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/>